ふくおかの食

方城すいとん

【福智町】

寒い冬にピッタリの「方城すいとん」は福智町の方城地区に伝わる郷土料理です。

ご当地グルメを発掘し福智ブランドとしてPRするため結成された「福智好いとん隊」により、町内外のイベントなどで振る舞われ、近年、じわじわと人気が高まっています。地元の食材をふんだんに使った「方城すいとん」は、だしがきいたしょうゆベースのスープとツルっともちもち食感の団子との相性がとても良く、絶品です！

「方城すいとん」は、大正3年12月15日、筑豊炭田・三菱方城炭鉱で多くの尊い命が失われた炭鉱事故「方城大非常」が発生した際、近所の人たちが食材を持ち寄り、残された多くの孤児たちに大鍋で振る舞ったのが始まりです。

福智好いとん隊は出展した食のイベントで表彰されたことも。こののぼりが目印！

「食を通じて福智町のことを知ってもらいたい」という福智好いとん隊の思いが広がり、今では、12月15日に町内全ての小中学校の給食で方城すいとんが振る舞われています。また、町内の飲食店10店舗では、各店こだわりの方城すいとんが、冬の間、楽しめます。

料理に込められた福智町の歴史に思いをはせながら味わう郷土料理、心も体も温まる「方城すいとん」を食べに、ぜひ福智町にお越しください！

問い合わせ
福智町役場
まちづくり総合政策課
☎ 0947-22-7766
ファクス 0947-22-3500

提供店舗について詳しくはこちら▶

知ってる？福岡県 vol.7
Do you know Fukuoka?

日本で最初に予防接種を行った秋月藩医・緒方春朔

江戸時代に流行した感染症「疱瘡」から多くの子どもたちの命を守るため、日本で最初に予防接種を行った人物をご存じですか？その人物は、秋月藩医・緒方春朔（1748－1810）です。

久留米藩の瓦林家に生まれた緒方は、医者の養子となり長崎に留学し、疱瘡の予防接種である種痘術を研究します。その後、秋月藩医として藩主の健康管理や町民の治療を行っていた1789年に疱瘡が大流行。緒方は研究を重ね、独自の種痘術を考案しました。しかし、人の命に関わる実験に踏み切れず、時間だけが過ぎました。

そんな時、「私の子どもで試してください」と申し出たのが、上秋月の大庄屋・天野甚左衛門です。緒方は何度も断りましたが、天野の熱意に説き伏せられ種痘を実施することになり、1790年2月14日、日本で初めての種痘に成功しました。緒方の功績はそれだけではありません。種痘の方法を著書「種痘必順辨」に分かりやすい和文で書き記し、全国への普及を図りました。

天野甚左衛門顕彰会の理事を務める隈部敏明さん

朝倉医師会病院に建てられた緒方春朔の顕彰碑

緒方春朔の肖像画（提供：朝倉市）

こうした偉人の活躍を現在に伝えているのは、天野甚左衛門顕彰会です。「人々の命を救いたい一心で尽力されたお2人のことを知っていただくため、市民公開講座などさまざまな活動に取り組んでいます」と隈部理事は話します。

問い合わせ：天野甚左衛門顕彰会　理事　隈部敏明さん
朝倉市役所　商工観光課
☎0946-52-1428　ファクス0946-52-1510